

# ACANTHUS NEWS



「アカンス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンスの葉を図案化したもの。

平成15年 **2003.2**  
月刊アカンスニュース  
金沢大学広報紙 第76号

## 地域貢献推進事業 輪島でタウン・ミーティング

TOP NEWS



1月24日夜、輪島駅ふらっと訪夢の和室には、寒風にもかかわらず、市民や行政関係者約70名が参集した。本学からは、中村信一副学長(地域貢献推進室長)ほか12名が出席した。

本学の五味武臣教育学部教授が「能登における持続的社会システムの地域的条件」、輪島市の大下泰宏企画課長が「能動的な市民を育成するために」と題して話題提供した後、参加者全員で意見交換が行われ、本学への要望意見が多く出された。

[10, 11頁に関連記事]

本学の地域貢献推進事業について述べる  
中村副学長  
＝輪島駅ふらっと訪夢 和室

## 大学入試センター試験



外国語試験に臨む受験者  
＝1月18日、文・法・経済学部試験場第1試験室(A101講義室)

1月18日、19日、石川県地区では本学を含めて6大学11会場で平成15年度大学入学選抜大学入試センター試験が行われ、初日の第1時限目の外国語には、角間、小立野、宝町の各キャンパスで計3,915名が受験した。

なお、1月27日からは、一般選抜入学の願書の受付が始まった。



入学願書の受付業務に忙殺される事務局職員  
＝1月31日、事務局第二会議室

## 巻頭言

# 快適な新病棟とリスクの高い診療棟



医学部附属病院長  
利波紀久

わけあって年末年始を新病棟で過ごし、充実した機能と快適性を実感した。832床を有する地上10階、地下1階の建物は緩やかな曲線を描いており、巨大な客船に似ている。小立野台地に堂々とその存在を主張しながらも周囲と見事に調和した新しい金沢の顔である。頼もしいことに、阪神大震災クラスの直撃にも耐える最先端の免震構造を備えている。個室は30%を超え、プライバシーへの配慮もなされている。無菌病室、集中治療室、術後回復室、アイソトープ病室など安全性と質の高い治療にも対応している。夜間の看護がし易いように部屋の照明に工夫が凝らされ、眼科病棟の廊下には誘導灯が施されている。各階の中央の東側には患者さんに温かい食事を手渡しできるテイルーム兼食

堂がある。遠くに医王山を望み、卯辰山や金沢市街を一望しながら飲食できる快適な空間である。私の家族も雪景色を眺めながらおせち料理をここで頂き新年を祝った。西側からは日本海に沈む夕日が楽しめる。病棟内の廊下はなだらかな曲線を描いており、歩いていると気持ちが和らぐことに気づく。そのせいか患者さんの表情も穏やかに見える。休みなく働いている看護師さんの表情も旧病棟の時と異なって柔和である。

病院は24時間機能している。多くの人が夜間、休日も働いていることは意外と知られていない。たくさんの職員が旧診療棟で老朽化した診療機器を扱っており、医療ミスを誘引しかねない環境での業務を強いられている。スペースシャトル「コロンビア」と同様のリスクを背負っているといえる。

病院は病棟と診療棟が一体となって初めて本来の機能を発揮できる。今は新病棟と旧診療棟が混在する環境であるが、幸いなことに、このたび、関係各位のご尽力により待望の新中央診療棟が着工の運びとなった。質の高い医療をさらに安全に提供できるよう一日も早い完成を切望している。

## 目

## 次

地域貢献推進事業 輪島でタウン・ミーティング ……	1	ジェンダーに関する広報担当者研修会 ……	8
大学入試センター試験 ……	1	中堅職員研修会 ……	8
巻頭言 快適な新病棟とリスクの高い診療棟 ……	2	就職のためのマナー講座 ……	9
マルキン教授が講演		薬学部卒業研究発表会 ……	9
“カリフォルニア大学バークレー校の教員は教育、研究、社会貢献で評価される” ……	3	社会教育主事フォローアップ研修 ……	9
医学部附属病院で2つの講演会		訃報 ……	9
「ヒューマンエラー発生のメカニズムとエラー防止対策」		本学へのお客さま ……	10
「クリニカルパスとNSTによる病院改革」 ……	4	林学長 「キャリアプランの確立」を講義 ……	10
知的財産戦略検討委員会報告会 ……	4	金沢大学の地域貢献推進事業 ……	10
第2回先端研究フォーラム ……	5	「子育て相談室」、[思春期相談室]、外国人留学生派遣 ……	10
起業家育成セミナー ……	5	ミニ講演会	
環境分野研究成果報告会 ……	5	「中国における外来語の翻訳と伝統文化」 ……	11
（金沢大学ティ・エル・オー：KUTLO「キュトロ」とは？		公開講座 ……	11
（Kanazawa University Technology Licensing Organization） ……	6	冬の昆虫観察 角間の里山自然学校 ……	12
海外マネジメント研修報告会 ……	8	新刊紹介 ……	12
		キャンパス点描 ……	12
		編集後記 ……	12

## トピックス

## マルキン教授が講演 “カリフォルニア大学バークレー校の教員は教育，研究，社会貢献で評価される”



講演するマルキン教授

1月20日から1週間、カリフォルニア大学バークレー校のリチャード・マルキン教授を海外アドバイザーとして招聘した。文部科学省の国際競争力強化経費海外アドバイザー招聘事業（全国で8大学採択）により、本学の教育方法改善に対するアドバイスを

受けるもので、全学対象の特別講演会、理学部、工学部及び教養教育の授業・実験の視察、理・医・薬・工学部各教官との意見交換会を行った。



教養的科目の授業を視察  
＝1月22日、総合教育棟D11演習室



全学対象の特別講演会  
＝1月22日、事務局大会議室



理学部の実験について質問  
＝1月21日、理学部生物学実験室



授業改善について意見交換  
＝1月23日、工学部秀峯会館中会議室



## 1月のニュース

## 医学部附属病院で2つの講演会 「ヒューマンエラー発生メカニズムとエラー防止対策」 「クリニカルパスとNSTによる病院改革」

医学部附属病院は1月10日、医療事故防止に関する研修会の一環として、東京電力株式会社技術開発本部技術開発研究所ヒューマンファクターグループ主席研究員河野龍太郎氏を講師に招き、「ヒューマンエラー発生メカニズムとエラー防止対策」をテーマとして講演会を開催し、病院長はじめ、教職員・医学部保健学科学生等の約250名が出席した。



どこにでも起こるエラーの実例について講演する河野講師



クリニカルパスに関する野上氏の講演に熱心に耳を傾ける医療スタッフ

また、同日、クリニカルパスを導入・推進するにあたり、済生会熊本病院呼吸器・糖尿病センター栄養管理センター部長野上哲史氏を講師に招き、「クリニカルパスとNSTによる病院改革」と題した基調講演会も開催し、医療スタッフ約200名が出席した。

## 知的財産戦略検討委員会報告会

知的財産戦略大綱に基づく本学の知的財産の取扱いと、文部科学省が公募する知的財産本部設置に応募する体制等について、平成14年9月から検討を重ねてき



報告する検討委員会委員長の村上教授

た知的財産戦略検討委員会（委員長：村上清史法人化準備委員会マネジメント戦略部会長）の報告会が、1月23日、24日

に各キャンパスで開催され、あわせて約70名の教官の出席があった。



検討委員会の報告を聞く出席者  
＝1月24日、医学部基礎第一講義室

## 第2回先端研究フォーラム

1月24日、研究・環境委員会の主催で、本学の研究者が展開している先端研究を発表することにより、研究者間の情報交換を行うとともに、研究の活性化を図ることを目的に第2回先端研究フォーラムが開催された。

フォーラムでは、5名の研究者から研究成果の発表が行われた。



糖尿病合併症の克服戦略について発表する山本博医学系研究科教授  
＝総合情報処理センタープレゼンテーション室

## 起業家育成セミナー

1月15日、共同研究センターと金沢市との主催による「起業家育成セミナー」が開催され、創業への意欲を持つ学生・大学院生や社会人など約40名が受講した。

セミナーでは、ベンチャー企業経営者の徳本修一氏及び南部修太郎氏のほか飯島泰裕経済学部助教授が、実際に起業した体験談やビジネスプラン作成のポイント等について講演した。



ビジネスプラン作成のポイントについて講演する飯島助教授  
＝インキュベーション施設セミナー室（1階）

## 環境分野研究成果報告会

1月21日、自然計測応用研究センター、共同研究センター協会の会及び石川県環境ビジネス研究会の共催により、金沢大学の環境分野における研究成果の報告会が開催され、学内外から約60名が出席した。

今回は自然計測応用研究センター各部門の6名の教官から研究成果が報告された。



研究成果について報告する岡崎千嘉男自然計測応用研究センター長  
＝インキュベーション施設セミナー室（1階）

金沢大学及び石川工業高等専門学校の研究成果を特許化し、企業にライセンス供与することで、産業界と国の総合競争力を高めるとともに人類の進歩と幸せのために貢献していく技術移転機関（TLO）です。

(アカンサスニュース第75号に掲載済)



- ① 国立大学の施設の使用
- ② 特許取得のための手数料及び特許料の減免
- ③ 「特許流通アドバイザー」の派遣
- ④ 技術移転事業関連経費に対する国からの補助金
- ⑤ 国の研究支援事業、起業支援事業への応募資格
- ⑥ 大学教官のTLO会社役員就任可能

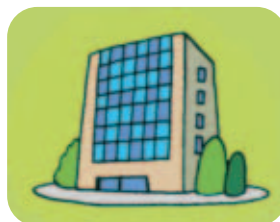
- ① 金沢大学教官のみの出資，単一の母体ゆえ運営のベクトル合せが容易
- ② 全学横断的に各学部の教官の支援，学部間の協調研究成果への期待
- ③ KUTLO内に特許出願機能とスタッフを備え，出願準備費用を圧縮
- ④ 研究者個人へのロイヤリティなど対価の手厚い還元，1/3還元ルールで発明・特許取得の促進
- ⑤ 知的財産本部との一体的運営を視野に，民間出身者による技術移転集団



## 発明から技術移転まで

金沢大学等  
の発明者

特許庁



企業



「特許を受ける権利の譲渡契約」  
及び「特許に関する収入の配分」  
についてKUTLOと契約締結

特許の  
出 願企業との  
特許契約

製品化

配 分

KUTLOが関わる業務

## 発明者への報償

論文などの学外発表まえに特許出願権がKUTLOに譲渡されますと……

- ・ 特許の出願準備，出願，審査請求，特許の取得や特許の維持はKUTLOが行います。煩雑な手続きや特許手数料，特許料の負担が要りません。
- ・ 発明の技術移転は発明者ごと相談しながらKUTLOが行います。特許出願のあと概要の開示，移転交渉の相手の選定，交渉，契約，技術援助及び対価の受領，配分など一切の関連業務をお任せください。もちろん節目ごと，重要なことは発明者と協議して進めます。
- ・ 契約金，ロイヤリティの配分が受けられます。

発明から得られた収入（特許を譲渡した場合の代金，ライセンシングした場合の契約一時金，ロイヤリティなど）を次のとおり配分いたします。

発明者 三分の一（発明者個人，所属大学等が変わっても個人に配分します）

大 学 三分の一（発明のときに所属していた大学，研究室に配分します）

KUTLO 三分の一（KUTLOの運営費として使います）

ただし，配分に先立ち特許取得のための直接費用（出願手数料，審査請求料及び特許料）を控除いたします。弁理士費用，契約交渉などの経費はKUTLOが負担いたします。

## お問い合わせ

(有)金沢大学ティ・エル・オー

〒920-1192 石川県金沢市角間町（金沢大学内）  
TEL 076-264-6115 FAX 076-234-4018  
<http://kutlo.incu.kanazawa-u.ac.jp/>

## スタッフ紹介



板垣英治社長

平野武嗣監査役  
(産学連携チーフコーディネーター)

奈良俊彦事業部長



高田律子特許課長

滝野美香  
アシスタント・パテントスペシャリスト

鵜川満尋総務係員

## 研修会等

### 海外マネジメント研修報告会



質問に答える白木事務官  
＝事務局大会議室

1月9日、文部科学省国際競争力経費海外マネジメント研修事業により実施した研修の報告会が行われた。

留学生課白木一成事務官が約1ヶ月間、金沢大学の最も古くからの協定校である米国ペンシルバニア大学を中心に行った研修について、留学生及び研究者交流の制度、問題点等を相互理解することの重要性などに言及し、その後、活発な意見交換が行われた。

### ジェンダーに関する 広報担当者研修会

1月28日、「ジェンダー・ハラスメントに関する広報担当者研修会－男女を平等に表現していますか－」が開催され、29名の教職員が参加した。



「ジェンダーへの気付き」に関するワークショップ  
＝事務局大会議室

### 中堅職員研修会

1月27日、28日、中堅職員としての役割意識と仕事への動機付けとなる講義等を提供し、本学の将来を担う事務職員としての一体感を培う目的で、中堅職員研修会が開催され、14名が受講した。



あいさつする大島有史事務局長

開講式で説明を聞く中堅職員  
＝1月27日、事務局第一会議室



## 就職のための マナー講座

1月23日、就職ガイダンスの一環として、「就職のためのマナー講座」が開催された。金沢ビジネスエアアカデミー学院長の宮田雅美氏から、面接時の立ち振舞いや会社訪問における注意点など、就職活動を行う際に心得ておかねばならないマナーのガイダンスがあった。



実演を織り交ぜて説明する講師と聞き入る学生  
＝文・法・経済学部棟A101講義室



ポスターセッション形式で研究発表  
＝薬学講堂

## 薬学部卒業研究発表会

1月24日、薬学部卒業研究発表会が開催された。従来研究室毎に開催されていた卒業研究発表会を、今年初めて学部全体として、ポスターセッション形式で行ったもので、教職員や学生延べ約200名が参加した。

## 社会教育主事 フォローアップ研修

大学教育開放センターは、1月24日、25日、国立能登青年の家との共催で、初めて「社会教育主事フォローアップ研修」を実施した。

これは、市町村教委や公民館等の社会教育施設で任務を遂行している社会教育主事に社会教育や生涯学習に関する最新の情報を提供するとともに、ワークショップ等を通じて相互の啓発の機会とするなど、社会教育主事への支援を目的に実施したもので、石川、富山、岐阜等の各県から24名の参加があった。



熱心に協議する社会教育主事ら  
＝1月25日、国立能登青年の家

## 訃 報

ここに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



1月6日 逝去  
小林昭経済学部教授  
享年61歳。



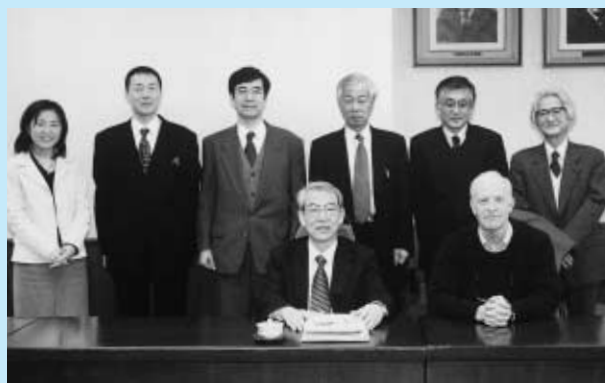
1月26日 逝去  
作田忠裕工学部教授  
享年53歳。

## 学長室等

### 本学へのお客さま



海外アドバイザーとして招聘した  
カリフォルニア大学バークレー校のリチャード・マルキン教授



マルキン教授と本学関係者

### 林学長

#### 「キャリアプランの確立」を講義

林学長が1月14日、後期教養的科目「21世紀を生きるためのキャリアプランⅡ」を講義した。

1～2年生を中心にした約300名の学生に「キャリアプランの確立」というテーマで90分の講義を行い、学生は熱心に受講した。

「キャリアプランの確立」について講義する林学長  
＝総合教育棟A1講義室



## 金沢大学の地域

### 「子育て相談室」、 「思春期相談室」

地域貢献推進事業の一環として、医学部保健学科木村研究室スタッフが金沢市と連携し、昨年の12月から「子育て支援事業」を行っている。保育士や小中学校の教員・養護教諭を対象とした5回シリーズの研修会では、毎回募集の50名を大幅に超える参加者がある。子育てに悩む母親への「育児相談」は、市内の保育所と連携し週3回実施しており、相談相手のいない親や発達に遅れのある子どもの親などが訪れている。

また、教育実践総合センターのスタッフを中心に、金沢大学サテライト・プラザを会場に、中学校・高校生など思春期で悩む子を持つ保護者や学校関係者向けの「思春期相談室」を、1月から開設している。毎週2回の相談室に申し込みが多く来ている。



育児相談を実施  
している保育園

## 金沢大学サテライト・プラザ

### ミニ講演会 「中国における外来語の 翻訳と伝統文化」

1月18日、矢淵孝良外国語教育研究センター教授が「中国における外来語の翻訳と伝統文化」と題して講演し、約40名が聴講した。

また、テレビ会議システム「金沢大学遠隔講座」により高松町産業文化センターに配信し、同町の約20名が受講した。



講演する矢淵教授  
＝金沢大学サテライト・プラザ

## 公開講座



「美術へのいざない (IV)」－大人の造形遊び：重心バランスを楽しむ作品制作－ 鷺山矢靖教育学部助教授  
＝1月15日、金沢大学サテライト・プラザ



「小説や啓発書などの指導者像・人物像」  
三上純子外国語教育研究センター教授  
＝1月16日、金沢大学サテライト・プラザ

## 貢献推進事業

### 外国人留学生派遣

小・中学校や高等学校の子供たちの国際感覚を育むために、外国人留学生を派遣している。これまでに、額小学校、扇台小学校、森本小学校、諸江町小学校、菊川町小学校に各校1～5名の留学生を派遣した。

留学生たちは自国の紹介や民族衣装を披露したり、自国の言葉による挨拶・歌・踊り・ゲーム・料理などを一緒に楽しんだ。また、子供たちからの素朴な質問に答えるなど、毎回楽しい交流を行っている。



外国人留学生との交流風景  
＝12月20日、額小学校



## 冬の昆虫観察 角間の里山自然学校

冬は昆虫観察ができないとお思いの方も多いようだが、さ  
にらず。1月25日は雪景色の北谷に入り、地中や朽木の中  
で越冬中の昆虫を探し、観察した。

ずぶの素人が闇雲に土を掘れば見つかる  
というものではないが、生態学研究室に学  
ぶ学生諸君にはそのあたりの知見は蓄積  
されている。クロナガオサムシ、ゴミムシ  
の仲間、ハサミムシの仲間、大型甲虫の幼  
虫、オオムラサキやゴマダラチョウの幼虫  
などが観察できた。



土を掘る生態学研究室学生

越冬中の昆虫を観察する参加者

## 新刊紹介



『求人のための大学案内』

お問合せ：厚生課就職支援室

## キャンパス点描

金沢大学冬景色（角間キャンパス）



## 編 集 後 記

大学入試センター試験、個別学力試験と続く入学試験シーズンを迎えました。各試験の準備や実施業務に、教職員は緊張して各々の配置についています。試験から入学手続きまで何事もなく終了することを祈るばかりです。

平成20年度の3学部体制移行等を柱とする学部・学科等の再編・統合の方針が1月17日開催の第637回評議会で承認され、本学の改革も新しい段階に入りました。方針の本文は金沢大学ホームページ「大学改革情報（学内専用）」に掲載されていますので、ご覧ください。

また、文部科学省は2月10日、国立大学長等会議で「国立大学法人法案」の概要について説明し、2月下旬には同法案が閣議決定される見通しとなりました。本格化する法人化に向けた取組みについても、本紙でお伝えできればと思います。

（総務部企画広報室専門員 西谷公作）

平成15年 2月21日発行  
（原則として毎月1回第3週に発行）

〒920-1192 金沢市角間町  
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5024  
FAX 076-234-4015

- ◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」〈愛称“KUPIS”（キューピーズ）〉  
（アドレス＝<http://www.kanazawa-u.ac.jp>）でもご覧いただけます。
- ◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール（E-mail）＝[general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp](mailto:general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp) でも受け付けています。